

2026年度 長野県

立美術館 移動展

in 富士見町



北島敬三《ハバロフスク 1991年5月24日》（シリーズ「USSR 1991」より）
1991年／2025年 Courtesy of the artist ©KEIZO KITAJIMA



萩原碌山《女》1910年

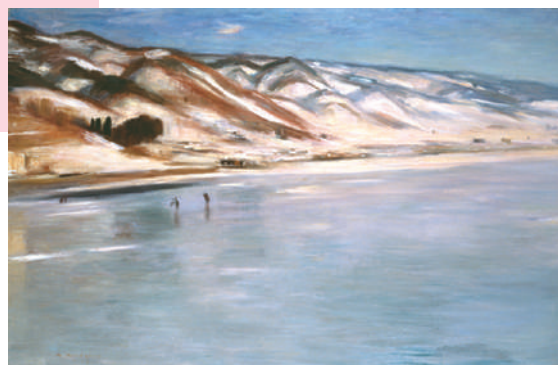


北島敬三《サントペテルブルク 1991年9月27日》（シリーズ「USSR 1991」より）
1991年／2025年 Courtesy of the artist ©KEIZO KITAJIMA

記録のはじまり ／その終わり



中村研一《八ヶ岳》1959年



金山平三《結氷》1931年



河野通勢《裾花川の河柳》1915年

休館日：月曜日（但し、11月4日[水]は休館。11月23日[月・祝]は開館）
開館時間：10:00～17:00（入場は16:30まで）
会場：富士見町高原のミュージアム
観覧無料

主催：長野県、長野県立美術館、富士見町教育委員会
後援：信濃毎日新聞社、株式会社長野日報社、エルシーブイ株式会社、市民新聞グループ

北島敬三《ネリングリ1991年4月2日
(シリーズ)SSR1991「より」》1991年／2025年
Courtesy of the artist ©KEIZO KITAJIMA



2026年度

長野県立美術館 移動展

in 富士見町



萩原嶽山《坑夫》1907年



中村研一《ハヶ岳》1959年

2026年
10月31日(土)
11月23日(月・祝)

記録のはじまり ／その終わり



河野通勢《裾花川の河柳》1915年

長野県立美術館の前身・長野県信濃美術館では1966（昭和41）年の開館以来、郷土にゆかりのある美術家たちの作品と、美しい信州の自然を描いた風景画を中心に収集・公開してきました。信濃美術館のコレクションを受け継ぎ、2021（令和3）年に新築オープンを迎えた当館は、新たに4つのコレクション・ポリシー（収集方針）を設け、更なる収蔵品の充実を目指しています。

コレクションをより多くの方にご覧いただくために1979（昭和54）年から県内各地で開催している「移動展」。2026年度は、富士見町高原のミュージアムを会場に、ハヶ岳、入笠山、釜無山といった風景を描いた秀作や、富士見町の産業に関連した名品を展示するとともに、昨年度、県立美術館で開催された企画展「北島敬三写真展 借りた場所、借りた時間」（2025年11月29日-2026年1月18日）から、写真家・北島敬三が崩壊直前の旧ソ連を約1年間にわたって取材した「USSR 1991」のシリーズをご紹介します。

さまざまな時代や土地の記憶を現在へと呼び起こし、異なる時間と場所のなかで新たな意味を獲得する記録の営みをご覧ください。

※諸般の事情により展示内容が変更となる場合があります。
最新情報は長野県立美術館公式ホームページをご確認ください。

ギャラリートーク 学芸員による展示作品の解説を行います。

2026年11月1日(日) 14:00-14:30

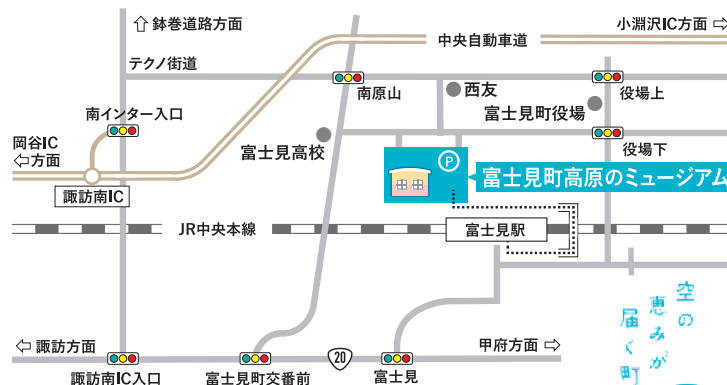
参加費無料／申し込み不要／上記日時までに会場にお越しください。
※ギャラリートークに関するお問い合わせは長野県立美術館(Tel. 026-232-0052)まで。

NOM 長野県立美術館
Nagano Prefectural Art Museum

県民の声を受け、1966（昭和41）年に前身の長野県信濃美術館（当初の名称は信濃美術館）が善光寺に隣接する城山公園内に開館。以来、長野県における唯一の県立美術館として活動を続けています。1990（平成2）年に併設館・東山魁夷館が開館。2016（平成28）年に開館50周年を迎え、翌年より改築工事のため一時休館。2021（令和3）年に「長野県立美

術館」として新築オープンしました。新たに「鑑賞」「学び」「交流」「研究」の4つの柱を掲げ、県民をはじめとする多くのみなさまの豊かで文化的な生活と、創造性あふれる人づくりに貢献することを使命としています。

コレクションポリシーなど
県立美術館コレクションの
詳細はこちら ▶▶▶



富士見町高原のミュージアム

〒399-0211 富士見町富士見 3597-1 TEL. 0266-75-5735

